**「教育研究業績」記入要領**

◆「教育研究業績」は原則としてＰＣ等で入力していただくとともに、丁寧にお取扱いください。

◆業績は、項目ごとに直近のものから遡って時系列順に記入してください。

◆記載事項の分量に応じて各欄のスペースや枚数、行数は増やして構いません。

◆右上のNo.は、教育研究業績Ⅰ～Ⅳの通し番号としてください。

◆『昇任』の場合、現職位から現在までの間の教育研究業績のみを記入してください。

**【教育研究業績Ⅰ：研究活動】**

◆実務家の方へ：研究業績は純粋な研究論文等に限定することなく、著書・編書・論文・学会報告・専門分野に関する解説（判例解説・時事解説・草案解説等）・座談会・講演記録・調査報告等の別（共編・共著・共同作成の場合にはその旨）を示して、網羅的に記載してください。

◆該当する実績がない項目は「該当なし」と記載してください。

◆すべての項目が「該当なし」の場合でも、必ず提出してください。

**１．研究者情報**

お持ちの場合は、ORCID、研究者番号、Researcher IDをご記入ください。

**２．著書**

・単著・共著・分担執筆の別※、著書名／タイトル、執筆担当章・ページ、発行年月、発行元を明示してください

※表紙、奥付等に氏名が記載されている場合のみを共著とします。氏名が記載されていない場合は分担執筆として扱います。

※共著・分担執筆の場合、執筆担当ページを必ず記入してください。

・業績の最後に合計数を記入してください（昇任人事の場合は、現職位から現在までの合計数を記入してください）。

**３．修士論文･博士論文**

・論文タイトル、発表年月、大学・研究科名を記入してください。

**４．論文**

・学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

・単著・共著の別、論文名、著者名、掲載誌・機関名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年月（西暦）を記入してください。

・共著者名は、著者名を論文に記載されている順序で全て記載してください。その際、自身の名前に一重下線を付し、自身が筆頭著者の場合は（筆頭）と明記してください。

・各論文について、被引用回数を記入してください。

・業績の最後に合計数と、その内数としての査読付論文数、SCOPUS掲載論文数、Web of Science掲載論文数を記入してください。ただし、SCOPUS掲載論文数およびWeb of Science掲載論文数については、やむをえない場合はどちらか一方の記入でも構いません。（昇任人事の場合は、現職位から現在までの合計数を記入してください）。

**５．学会発表**

・国際学会の場合は（国際学会）と、招待講演の場合は（招待講演）と、基調講演の場合は（基調講演）と、査読付の場合は（査読付）と、それぞれ記載してください。

・タイトル、発表年月、主催者・掲載誌名を記入してください。

・日本語以外の言語での発表・講演である場合は、タイトルのあとに（○○語）と明記してください。

・業績の最後に合計数と、その内数としての国際学会発表数、招待講演数、基調講演数、査読付数を記入してください（昇任人事の場合は、現職位から現在までの合計数を記入してください）。

**６．外部資金獲得状況（科研費、科研費以外の公的研究費、その他民間機関からの研究費等、い　　ずれも研究代表者に限る）**

・科研費：研究代表者として採択された研究課題について、種別、研究課題名、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。

・科研費以外の公的研究費：代表者として採択された、日本学術振興会、ＪＳＴ、ＮＥＤＯ、省庁・地方自治体などの公的研究費について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。

・その他民間機関からの研究費等：代表者として採択された、民間企業からの受託・共同研究費、民間財団からの助成等について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。

・業績の最後に合計数と、その内数としての科研費獲得件数、科研費以外の公的研究費獲得件数を記入してください（昇任人事の場合は、現職位から現在迄の合計数を記入してください）。

**７．研究活動における受賞歴**

・学術賞等の受賞状況、特に海外の科学アカデミー等からの国際的学術賞の受賞があれば、賞の名称、授与団体・学会名、授賞年月を記入してください。

**８．特許・実用新案等**

・内容、取得年月等について記入してください。

**９．日本以外の国における研究歴**

・履歴書に記載のない特筆すべき研究歴がある場合、その研究に従事した期間（開始～終了）、概要、国名、所属機関等について記入してください。

**10．海外機関との共同研究等の実績**

・実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

**11．その他研究活動上特記すべき事項**

・各種財団の競争的資金獲得状況、研究業績・成果のメディアによる掲載など、上記項目以外の特記すべき事項があれば記入してください。

**【教育研究業績Ⅱ：教育活動】**

◆該当する実績がない項目は「該当なし」と記載してください。

◆すべての項目が「該当なし」の場合でも、必ず提出してください。

**１．教育活動における受賞歴、教育面での評価（ティーチングアワード等）**

　・受賞年月、概要、授与機関等について記入してください。

**２．これまで担当した主な科目**

　・科目名、実施機関、担当年度を記入してください。

**３．直近３年間の論文指導学生数**

　・修士論文、博士論文の指導学生数を、主査・副査の別ごとに記入してください。

**４．教育内容･方法の工夫(授業評価等を含む)** **、日本語以外の教育歴**

　・実施年月、概要、実施機関等について記入してください。

　・日本語以外の教育歴については、日本国内・国外を問いません。

**５．作成した教科書、教材、参考書**

　・題名、発行元、発行年月等について記入してください。

　・日本語以外の言語で作成された場合、（○○語）のように明記してください。

**６．教育方法･教育実践に関する発表、講演等**

　・発表年月、題名、発表箇所等について記入してください。

　・日本語以外の言語での発表・講演である場合、タイトルのあとに（○○語）のように明記してください。

**７．教育方法に関するセミナー・研修等の受講歴**

　・受講年月、タイトル、開催団体等について記入してください。

**８．日本以外の国における教育活動歴とその言語**

　・履歴書に記載のない特筆すべき教育活動歴がある場合、その教育活動に従事した期間（開始～終了）、概要、国名、所属機関等について記入してください。

**９．その他教育活動上特記すべき事項**

　・教育業績・教育方法のメディアによる掲載など、上記項目以外の特記すべき事項があれば記入してください。

**【教育研究業績Ⅲ：専門分野に関する実務経験】**

◆「教育研究業績Ⅲ：専門分野に関する実務経験」は、主に実務者が記入されることを想定した書式です。

◆該当する実績がない項目は「該当なし」と記載してください。

◆すべての項目が「該当なし」の場合でも、必ず提出してください。

**１．専門分野に関する実務経験**

専門分野に関する実務経験について、期間、所属機関、資格・役職、業務内容について記入してください。弁護士・公認会計士等の資格をお持ちの場合は取得年月・登録年月を記入してください。

**２．専門分野に関する実務経験上、特記すべき事項**

たとえば、以下のような特記すべき事項について、実施時期、発表時期、従事期間等とともにその概要を記入してください。

・司法研修所等の教官・教員等（法曹の場合）

・自身の研究や実務実績のメディアによる掲載・紹介

・研修会・企業内研修・セミナー・講演会等での講師、実習指導、教材作成への関与等

・大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

・研究会・ワークショップ等での報告や発表

・科研費の審査委員

・各種褒章・表彰の審査委員

・行政機関における調査官等

・調査研究、海外事情調査等

・大学との共同研究

・各種試験・審議会・行政委員会、各種ＡＤＲ等の委員

・各種団体や組織の理事・役員等

　※学会関係は「教育研究業績Ⅳ：所属学会、保有資格、その他」に記入してください

**【教育研究業績Ⅳ：所属学会、保有資格、その他】**

◆該当する実績がない項目は「該当なし」と記載してください。

◆すべての項目が「該当なし」の場合でも、必ず提出してください。

**１．所属学会・役職等**

現在所属している学会等について、学会名、役職等、所属年月を記入してください。

**２．保有資格等**

たとえば、以下のような資格、免許等で専攻分野に関連するものがあれば、内容・取得年月を記入してください。

・教員免許：種類・区分・教科を記入してください。

・危険物や化学物質等を取り扱うための資格等（特定化学物質等作業主任者、有機溶剤作業主任者、エックス線作業主任者、衛生管理者、危険物取扱者等）

**３．その他**

上記いずれの項目にも該当しない特記事項があれば、記入してください。

以　上